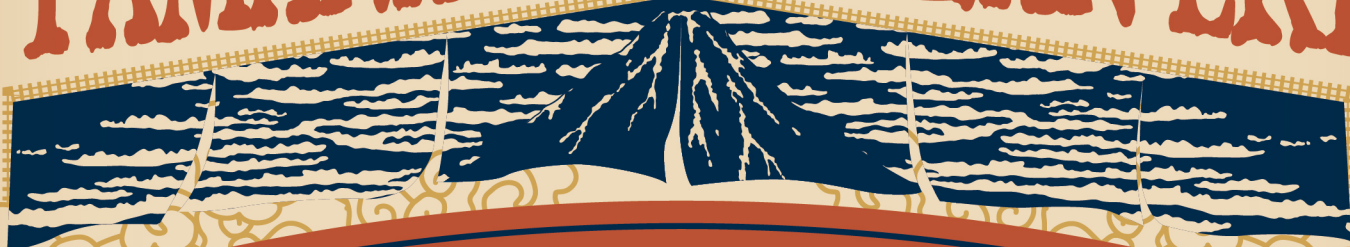




YAMANASHI ENZAN EKI



明治の鉄道王 兩宮敬次郎展



わたしは人より
少し先が見える傾向がある



会場

甲州市近代産業遺産
宮光園

【入館料有】

入場者特典

——期間中ご来館の皆様——
展示会特別しおり
プレゼント

——平日先着5組限定 (1組1枚)——

オリジナル
トートバック
プレゼント

令和5年
10月4日(水)～11月27日(月)

毎週火曜休館日 午前9時～午後4時30分(受付は午後4時まで)

問合せ先

ワイン文化日本遺産協議会
甲州市教育委員会 生涯学習課 文化財担当
山梨県甲州市塩山上塩後240番地 0553-32-5076



詳細はQRを
ご覧ください



中央本線開通120年記念企画展

塩山駅・甲斐大和駅開業120年 / 勝沼ぶどう郷駅開業110年

明治の鉄道王 雨宮敬次郎展

会期 令和5年10月4日(水)～11月27日(月) 毎週火曜休館日 午前9時～午後4時30分(受付は午後4時まで)



今年は中央本線開通120年の記念の年。
これにあたり、明治時代に鉄道開通に尽力した甲州市塩山出身で
甲州財閥である雨宮敬次郎についての展示を行います。

雨宮敬次郎

Keiji Amemiya

日本の「鉄道王」ともいわれ、甲州財閥の一翼を担った実業家。名主の家に生れる。行商から身を起し、両替商など各種の事業で成功をおさめる。その後事業の失敗と成功を繰り返し、明治21(1888)年に甲武鉄道の取締役となる。以後、川越鉄道、北海道炭礦鉄道と関わり、日本鑛鉄会社を起した。36年には東京市街鉄道株式会社を設立、39年に同社を辞した後、京浜電鉄、江ノ島電鉄の社長となるなど、近代産業の多くの分野の事業に参画した甲州市に縁のある人物。ブドウやワインは、甲州街道を人力で運ぶか富士川の水運を使っていたが、鉄道開通により短時間で大量の輸送が可能となった。また、鉄道開通時に作られたトンネルの煉瓦積み技術は勝沼のワイン貯蔵庫(龍憲セラー)に応用されるなど、甲州市の文化発展に大いに貢献した。

甲州市のワイン産業の発展と、
日本の鉄道敷設に貢献した男

店商産斐甲京東本日



甲州市近代産業遺産
宮光園

宮光園はワイン産業の先覚者・宮崎光太郎が自宅に整備した宮崎葡萄酒醸造所と観光ブドウ園の総称です。明治一〇年祝村(現甲州市勝沼町下岩崎)に設立された我が国初のワイン醸造会社である大日本山梨葡萄酒会社が明治一九年に解散した後、醸造器具等一切を引き継いで、フランスでワイン造りを習得した土屋龍憲とともに甲斐産葡萄酒の醸造を開始しました。宮光園には、ワイン醸造や観光ブドウ園に関する膨大な資料群が残されており、日々整理作業が行われています。特筆すべき資料は、醸造や皇族の行幸行啓の様子に映る貴重な古写真です。

日本のワイン造りは
ここから始まった。



印天黒大 酒葡産斐甲



会場

甲州市近代産業遺産 宮光園

開館時間 午前9時～午後4時30分
(受付は午後4時まで)

定休日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

山梨県甲州市勝沼町下岩崎1741

QRコードよりGoogle Mapへ▶



観覧料

団体は20人以上から

区分	個人	団体
20歳以上の方(学生は除く)	200円	100円
20歳未満の方(未就学児は除く)及び20歳以上の学生	100円	50円



■お車で

名古屋小牧JCT 中央自動車道 3時間 勝沼IC 中央自動車道 1時間20分 新宿

問合せ先

ワイン文化日本遺産協議会

甲州市教育委員会 生涯学習課 文化財担当

山梨県甲州市塩山上塩後240番地

0553-32-5076



日本ワイン
140
年史
醸造する
和文の結晶



JAPAN HERITAGE
日本遺産